

## ガンキ市保健ポスト整備計画に係る引渡式

在モーリタニア日本国大使館

12月20日、ゴルゴル州ガンキ市保健ポストにおいて、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ガンキ市保健ポスト整備計画」によって建設及び整備された保健ポストの引渡式が開催され、当館から佐藤英矢参事官が出席しました。

贈与金額71,626ユーロ（約870万円）の本援助により、保健ポスト本棟、医療廃棄物焼却炉及び外壁の建設並びに医療機器が整備されました。本計画を通じて、ガンキ市の10,000人が受ける医療サービスの質が改善されます。

当国保健省の定める規格に準じた新しい保健ポスト本棟は、安全な出産の取り組みを支援し、医療機器の支援は、診察の質の向上に寄与します。

日本政府はこれまでにモーリタニアにおいて、貧困との闘いに対する支援の一環として、保健分野の支援を、あらゆるレベルで実施してまいりました。これは、我が国が、すべてのモーリタニア国民が必要な医療サービスを享受できるよう、国、地方での保健サービスの拡充と人材育成の支援に重点を置いています。また、上記の取り組みは、モハメド・ウルド・アブデル・アジズ・モーリタニア・イスラム共和国大統領の基本政策の最重要課題である「貧困対策」にも合致するものです。

佐藤参事官は、保健ポストのスタッフと利用者が、本計画における全ての供与品を適切に維持管理し、しっかりと活用することにより、所期の目的が達成されるとともに、両国民の友好と連携が一層強くなることを願っている旨述べました。

ソウ（Mr. Mohamed Abou SOW）ガンキ市長は、ガンキ市民及びモーリタニアの自治体を代表して、日本国政府及び全ての日本国民に対し、謝意を表明しました。



佐藤参事官スピーチ



ソウ・ガンキ市長スピーチ



保健ポストの引渡し